

業務名（業務コード）			積付結果登録（MAWB単位）（ULMO1）																		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	入力条件／形式		
1		入力共通項目		an	398			M													
2		MAWB番号	MA B	an	20			M												MAWB番号を11桁以内で入力	
3		混載業	CD C	an	5			M										利用者コード		当該MAWBに対して混載仕立てを行った混載業を入力	
4		保税蔵置場	HW H	an	5			M										保税地域コード		ULD積付作業を行った保税蔵置場を入力	
5		積付年月日	TY D	n	8			M												(1) ULD積付作業を実施した年月日を入力 (2) システム年月日の2日前までであること	
6		積付作業者	TG Y	an	5			C												ULD積付作業者を5桁の任意のコードで入力	
7		ULD番号（A～C）	UN —	an	14	3		C												(1) 積み付けるULD番号を14桁以内で入力 (2) ULD番号A～Cに同一番号は入力不可	
8		積込港（A～C）	AP —	an	3	*		C										IATA空港コード		(1) 当該ULDの積込港を入力 (2) 先頭欄のみ入力可能 (3) システム外積貨物で積込港が不明の場合は、「Z△△」を入力	
9		検量重量（A～C）	KW —	n	8	*		C												(1) 各ULDに対して積み付ける検量重量を入力 (2) キログラム単位で入力 (3) 整数部6桁、小数部1桁	
10		ULD搭載タイプ（A～C）	UT —	an	1	*		C												ULDの搭載タイプを入力 B：ベリー・デッキ搭載 M：メイン・デッキ搭載 L：ロー・デッキ搭載 C：コンテナ	
11	12	処理識別	SH B	an	1			C												E：登録終了 P：全量保留 X：全量バラ積み（処理対象外） *：処理対象外 スペース：積付対象	
12	*	HAWB番号	HA B	an	20			C												当該MAWBに仕立てられたHAWB番号を入力	
13	*	積付個数A	TP A	n	6			C												(1) ULD番号Aに入力されたULDに積み付ける個数を入力 (2) ULD番号Aが入力されていること (3) 積付個数A～Cに入力した個数の和は積付可能個数以内であること	
14	*	積付個数B	TP B	n	6			C												(1) ULD番号Bに入力されたULDに積み付ける個数を入力 (2) ULD番号Bが入力されていること (3) 積付個数A～Cに入力した個数の和は積付可能個数以内であること	
15	*	積付個数C	TP C	n	6			C												(1) ULD番号Cに入力されたULDに積み付ける個数を入力 (2) ULD番号Cが入力されていること (3) 積付個数A～Cに入力した個数の和は積付可能個数以内であること	
16	*	バラ個数	BP S	n	6			C												一部バラとなる貨物がある場合は、その個数を入力	
17	*	特殊貨物記号	SP C	an	3			C										SPC（特殊貨物）コード		HAWB番号に対する輸出貨物情報DBに登録されている特殊貨物記号を入力	
18	*	仕向地	DS T	an	3			C										IATA空港コード 及び IATA都市コード		HAWB番号に対する輸出貨物情報DBに登録されている仕向地を入力	